

6月補正予算でこんな事業が行われます

○緊急雇用創出事業 委託料 300万円
税務課の課税台帳の電子化事業

○人・農地プラン作成事業 70万円

地域農業における高齢化、後継者不足などの問題解決のため検討委員会を立ち上げ今後の地域農業のあり方を定めたプランの作成。



○教育振興研究委託料

・鈴溪の偉人たちの生き方を学習する（小鈴谷小学校） 6万円

・常滑焼や和菓子作りの達人から技と生き方を学ぶ（西浦南小学校） 8万5千円

・大学生や退職教員などを理科支援員として配置し理科授業の授業・活性化を図る（三和小学校） 53万円



○実践的防災教育総合支援事業費 623万円

・小中学校に気象庁から発信される緊急地震速報を受信し校内放送に連動する設備
・防災に関する有識者などを学校防災アドバイザーとして委嘱し、再構築を図る。

一隅を照らす 皆様からの意見

安心安全な食べ物を被災者に提供を

私は12日の刈谷講演会でお目にかかり、先生も瓦礫広域処理に疑問をお持ちだと分かり、とても心強く感じました。昨日の講演会で得た情報をどうか他の議員さんや市の担当者、市長さんにもお伝えいただいて、瓦礫受入を阻止する



方向に持って行っていただくようお力をお貸し下さい。私は本当の被災地支援とは、高線量地域に住む方々（特に子供達）を一刻も早く汚染されていない西日本に避難・疎開させる事と、安心安全な愛知の食べ物を東日本に提供して行く事だと考えています。どうかよろしく願い申し上げます。

議会報告会&広聴会 (かえるの会)



政治は生活の一部です。皆様に政治に興味を持ってもらうため、意見を聞くための会です。気楽にお越しください。

7月29日(日) 13時30分～ 大野町きょう屋
31日(火) 10時～ 中央公民館
31日(火) 19時～ 南陵公民館

お知らせ

9月議会のお知らせ

9月3日(月)～10月9日(火)

一般質問 9月4日(火)・5日(水)
9時30分～

議会の出来事をブログ「きょう子の部屋」に書いています。是非、ご覧ください。

きょう子の部屋

検索

パソコンで検索!!

<http://kyoya5052.blog52.fc2.com>

駅頭報告



7月
18日(水) 大野町駅 いずれも7時～8時
19日(木) 榎戸駅 きょう子通信配布の
20日(金) 常滑駅 お手伝いを求む

参加しませんか!

井上きょう子後援会幹事会
年会費 2400円(月200円)
内容 勉強会、研修旅行、議会傍聴
駅頭報告や議会報告等の手伝
連絡先 後援会事務局
0569-42-1307

※きょう子通信のポスティングのお手伝いしませんか。あるいて郷土を見直すいいチャンスで、新しい発見があるかも。

きょう子通信

2012年7月
No.23



井上きょう子後援会 井上きょう子

ご意見 TEL:479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内)
ご相談は TEL/FAX:42-1307 E-mail:kyo-ya@infoseek.jp

ブログ 大野町きょう屋ホームページ内 <http://kyoya5052.blog52.fc2.com>

子どもに環境負債というツケをまわさない

昨年3月11日に大震災が起き、巨大津波が来て、米元副大統領は「将来世代が、われわれに問い掛ける質問はふたつに一つだ」と言う。彼らがわれわれに「何を考えていたの? なんて行動しなかったの?」と尋ねるか。それとも「**どうして、あれほど多くの人々が解決は困難だと言っていたのに、立ち上がり、危機を解決する勇氣を持つことができたの?**」と尋ねるか。

われわれが次世代の人々に残す環境破壊という「負債」は、国や市の財政赤字という実際の借金同様、巨額なものに上り、今から行動を改めたところでもはや、われわれの世代だけでは処理できそうにない。しかし私は次世代の子供たちのためにゴアの言う2つ目の質問に答えていきたい。

子供に
ツケを
まわさない!

「地球温暖化の問題を取り上げた有名な映画「不都合な真実」の中で注目を浴びたアル・ゴア

ダイオキシン類が水路で基準値超す 半田クリーンセンター

半田市は5月30日、半田クリーンセンター近くの乙川水路で環境基準を超えるダイオキシンが測定されたと発表した。その場所は2市3町で(半田、常滑、武豊、美浜、南知多)29年稼働予定のごみ焼却場建設予定地である。いくつかの候補地のうち半田と決定した1年後、そこは以前産業廃棄物処理所であったことが行政側から議員に知らされた。市民の安全を考え、ごみ焼却場建設を一から考え直す必要があるのではないか。



新体制スタート 議会改革

今回も議員の役員改正では市長選に貢献したものが議長になり、市長提案に100%賛成する者だけが役職に付く。これでは議員は必要ない存在では? 本来議長を頂点とした組織で役員が一丸となり行政をチェックするべきであるが、議会は党派で動くので、皆バラバラで市民の問題を全議員で議論することはない。24年度議会

も新体制になり、いよいよ議会改革委員会が6月からスタートし、まず見える議会、一般質問、委員会の3つのテーマで検討する。しかし、見える議会と言っているにもかかわらず、市民への傍聴の配慮もない。市民のための本当の議会改革にしていきたいが・・・。

